

早めにチェック!

あなたは胃がんになりやすい??

採血でピロリ菌感染がわかる!

胃がんリスク検診

・「胃がんリスク検診」は、**ピロリ菌と胃炎の程度**を調べ、
将来どれくらい胃がんになりやすいのかリスクを明らかにする
血液検査です。

費用
500円

- ・令和6年度の対象は、令和7年3月31日時点で
40歳～80歳で、今までに胃がんリスク検診を受けたことがない人
- ・実施期間は 令和6年4月1日から令和7年3月31日 まで

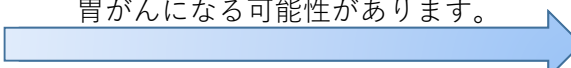
胃がんリスク検診（ABC分類）の結果について

ペプシノゲン(PG)検査

胃粘膜の萎縮の程度を調べる検査

ピロリ菌抗体(HP)検査

ピロリ菌に感染しているかどうかを調べる検査

判定結果	正常	精密検査が必要		
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	陰性	陰性	陽性	陽性
ピロリ菌抗体検査	陰性	陽性	陽性	陰性
現在の胃の状態	健康な胃粘膜です。	ピロリ菌の感染はありますが、胃粘膜の萎縮は進行していません。	ピロリ菌の感染があり、胃粘膜の萎縮があります。	ピロリ菌が住みづらいほど、胃粘膜の萎縮が進行した状態です。
現在の胃がんのリスク	胃がんになる可能性はとても低いです。	胃がんになる可能性があります。  高		
胃がんの発生頻度(年間)	ほぼ0	1,000人に1人程度	400人に1人程度	80人に1人程度
結果	今回は、精密検査を受ける必要はありません。	必ず、精密検査（内視鏡検査）を受けましょう。		